

下水道をリフレッシュ

老朽化する下水道管を詳細調査し今後の対策を検討

下水道は、水道、電気、ガスなどと同様に、私たちが生活を送る上でなくてはならないライフラインです。その存在は「あたりまえのもの」となっていますが、今後においてもこれが「あたりまえのもの」であるよう、日頃から適正な維持管理を行いながら、下水道管の詳細調査を行っています。今回、このあらましについてお知らせします。

普及率は97・4%

江別市の下水道は、道営大麻団地の造成を契機に昭和39年度から始まり、既存の市街地地区は昭和41年度の江別駅前地区から始まり、そ



写真提供：国土交通省
下水道管の老朽化による道路陥没状況（道外の例）

の後市街地の拡大に対応して整備を進めてきました。平成24年度末における下水道管の整備延長は約848キロメートルで、直線で江別駅から東京駅までの距離に相当します。また、下水道処理人口普及率は97・4%で、全国平均76・3%、全道平均89・9%からみても高い普及率となっています。

24年度から詳細調査

一方、下水道事業の早期着手の結果、早くに整備されてきた下水道管は老朽化が進み、今後、改築・更新しなければならぬ老朽管の増加が

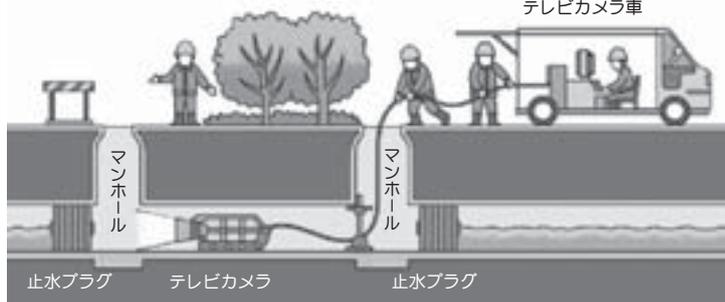


モニターを見ながらテレビカメラで操作して下水道管を調査

見込まれています。下水道管の老朽化は、下水道機能への支障や道路陥没など、社会的に大きな影響をおよぼす可能性があります。このため、下水道管の状況を調査し、老朽化の度合いを的確に判断して、より少ない経費でより効果的な老朽化対策を行うことが必要となつて

きています。市では、平成24年度から、大麻地区を中心に、下水道管内の詳細調査を行っています。詳細調査は、内径800ミリメートル以上の大口径管については、原則として作業員が管の中に入って目視により行い、小口径のため作業員が入

下水道管内テレビカメラ調査の概要



ることのできない700ミリメートル以下の管についてはテレビカメラにより実施しています。



4つに分類

調査した結果により、事故防止およびライフサイクルコスト（新設、維持管理、改



下水道管内を走行するテレビカメラ

築、処分を含めた生涯費用の総計)を軽減するため、次の分類に分けて整備していきま

- ①劣化、損傷のないものはそのまま既設管活用
- ②一部の損傷については部分的に修繕

③損傷が軽微なものは既設管をライニング(内面を合成樹脂などで被覆)する管更生工法で利用する

- ④損傷が激しいものは布設替えて新しい管に入れ替え
- 今後とも、下水道のライフラインとしての機能を保持し

水道水を検査

安心して使用していただくために……

水道部では、市民の皆さんに安全な水道水を安心してご使用いただくため、水道水の水質検査を実施しています。検査項目は水質基準項目の50項目や水質管理目標設定項目の25項目などです。

昨年年度の水質検査結果は市ホームページで公表しているほか、水道部営業センターと上江別浄水場の2か所で、検査結果の冊子を配布しています。



て、次世代へ良好な下水道サービスを引き継いでいきます。

調査にご協力を

これからも、市内各所において、下水道管の詳細調査を行っていきます。調査周辺の皆さんには、交通規制などで一時的にご迷惑をおかけすることもありますが、細心の注意を払い慎重に実施しますので、ご理解とご協力をお願いします。

【詳細】 下水道施設課計画係
☎ 385・1218

詳しくは、お問い合わせください。
【詳細】 浄水場浄水係 ☎ 382・2756

水PRプロジェクトは、水道部の業務をPRすることを目的に平成23年に発足しました。水道部若手職員9人による新しい感覚と、形式にとられない自由な発想で活動しています。

今までに、「えべつ消費者まつり」「環境広場」への参加や「水道庁舎でのパネル展」「夏休み親子バスツアー」を開催してきました。イベントに合わせてペットボトルタワーも作成しました(水道庁舎1階ロビーにて展示中)。現在、水道庁舎1階ロビーで水道部PR展示を開催していますので、

水PRプロジェクト



プロジェクトのメンバー

から継続して活動していきます。

プロジェクトに興味のある方は、ぜひ市のホームページをご覧ください。最新のイベント情報や、過去のイベント時の写真を掲載していきます。

好評だった親子バスツアー



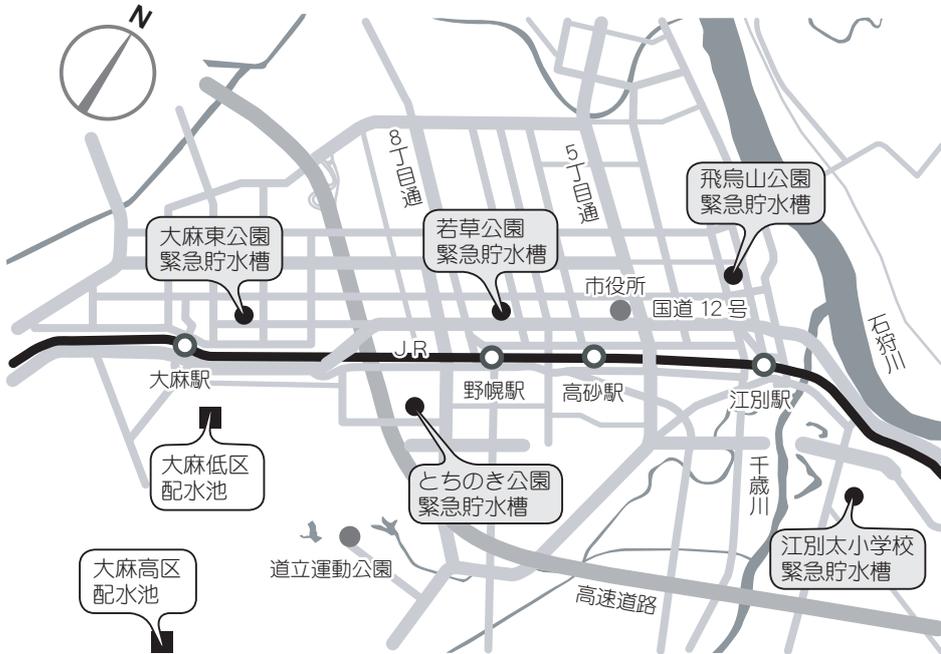
ぜひご覧ください。展示内容は、2か月に更新する予定です。まだ発足して3年目のプロジェクトですが、これからも新しい風を吹き込みな



水道庁舎1階での水道部PR展示

地震災害時に水道水を確保

5か所に緊急貯水槽、2か所の配水池に緊急遮断弁



詳細 水道整備課維持管理係 ☎ 383-2439

水道部では、災害時の応急給水のために、避難場所となる公園や学校の敷地など市内5か所に緊急貯水槽を設置しています。緊急貯水槽とは、地震などの災害によって、大規模な断水が発生した際に水道水を確保し、応急給水を行うための施設です。通常時は配水管と接続され新鮮な水が流れていますが、地震などによって配水管が破損すると貯水槽と配水管を結ぶ弁が自動的に動いて両者を分離することで、非常用の水道水が確保できます。1か所50 m³の貯水量で人間の生命維持に必要なといわれる1日3 リットルの水道水を3日間約5,500人の市民へ応急給水することができます。

さらに、浄水場でつくられた水道水を貯める配水池には、緊急遮断弁を設置しています。緊急遮断弁は、地震や配水管の破損などの異常を感知すると、これも自動的に弁が動いて遮断され、避難場所などに届ける水道水を確保します。

現在、大麻低区配水池と大麻高区配水池の2か所に設置されていて、合計で約5,600 m³の水道水を確保できます。

水道は私たちの生活にとって、なくてはならない重要なライフラインです。水道部では、今後も災害に強い水道を目指して、水道施設の整備を進めていきます。

平成24年度 水道事業・下水道事業会計決算

水道部では、平成19年度から平成25年度までの7年間の経営の指針として、「江別市水道事業中期経営計画」および「江別市下水道事業中期経営計画」を策定しています。

平成24年度決算の概要を中期経営計画との比較を交えてお知らせします。

詳細 水道部総務課財務係 ☎ 385-1214

1. 決算の概要 -引き続き健全経営を維持-

水需要は人口の減少や景気の低迷、節水型機器の普及などにより減少傾向にありますが、費用面において管理運営費などの節減に努めた結果、上下水道事業とも中期経営計画の目標を上回る純利益を計上することができました。

● 損益の状況 (単位：百万円)

項目	水道事業	下水道事業
営業収益	2,257	2,557
営業費用	1,875	1,944
営業外収益	5	51
営業外費用	106	476
特別利益	0	0
特別損失	18	6
純利益(実績)	263	182
純利益(計画)	179	116

経営状態を把握するために用いられる各種経営指標についても、中期経営計画の目標値を達成しています。

● 経営指標 (単位：%)

項目	水道事業	下水道事業
総収支比率	113.1 (108.4)	107.5 (104.1)
営業収支比率	120.9 (116.1)	131.6 (128.0)
累積欠損金比率	0 (-)	0 (-)

※()内は24年度経営計画の目標値

● 企業債残高の推移 (単位：百万円)

項目	H20	H21	H22	H23	H24
水道事業	4,783	4,347	4,005	3,797	3,598
下水道事業	18,951	17,797	16,720	15,813	15,086

2. 主要事業

(1) 基幹管路耐震化事業 (水道事業)

災害に強く安定したライフラインの構築を図るため、基幹管路の耐震化事業を進めました。

(2) 汚水管渠整備事業 (下水道事業)

食品関連産業の立地に向けた西野幌汚水幹線整備を実施しました。

3. 今後の取り組みについて

現在、水道部では、上下水道事業について幅広く外部の方の意見を反映するために設置された「江別市上下水道事業運営検討委員会」を通して、次期中期経営計画の策定を進めています。今後も良質な上下水道サービスの提供と安定的で効率的な事業運営を通じて、市民の皆さんが安心して生活を送ることができるまちづくりを目指します。

※詳しい決算の状況(決算書)および「中期経営計画」は、市水道部ホームページでご覧いただけます。
<http://www.city.ebetsu.hokkaido.jp/suidou/suidoutop.html>